

写

令和2年1月21日

薩摩川内市長 岩 切 秀 雄 殿

薩摩川内市自治総合審議会
会長 今別府 哲矢



第2次薩摩川内市総合計画後期基本計画（素案）に対する意見について
（答 申）

令和元年10月8日に諮問されました第2次薩摩川内市総合計画後期基本計画（素案）について、慎重に審議した結果、別紙のとおり答申します。併せて、これまでの審議の中で出された委員からの意見一覧を添付しますので、施策の参考としてくださるようお願いいたします。

なお、審議会として、総合計画の基本理念である「安全・安心」、「活力」、「共生」、「行財政」を柱とした持続可能な魅力あるまちづくりの実現へ向けて努力されることを要請します。

(別紙)

政策Ⅰ 【健康・福祉】健やかに生き生きと暮らせるまちづくり

- ・ 健康づくりに関する施策は働く世代にも意識してほしい施策であり、継続的に取り組まれない。
- ・ 課題は多いと思うが、甌島の医療体制の確保に向けて必要な施策に今後も取り組まれない。
- ・ 事業者において育休や産休などを取りやすい環境づくりを行うことが必要であり、事業者への意識の醸成を図る施策に引き続き取り組まれない。
- ・ 人口減少対策がクローズアップされているが、子どもが増えさえすれば良いのではなく、「子どもを育てていく」、「命を守っていく」という視点が重要であり、SDGsにもつながるものであるため、より一層充実した取組とされたい。
- ・ 認知症対策の重要性が高まっており、また、本人だけでなく、家族への支援も必要である。今後も必要な施策に取り組まれない。
- ・ 障害の内容も各児童・生徒により異なるため、保護者などが相談できる体制の更なる充実に努められたい。

政策Ⅱ 【生活環境】快適で魅力的な住み続けたいまちづくり

- ・ 自主防災組織の訓練実施率が低い状況であるため、実態に合った取組を行い、更に効果を上げていけるような取組を行うことで、地域防災力の向上に取り組まれない。
- ・ 災害時においては、高齢者や障害者も安心して避難できるように更に取り組まれない。
- ・ 地球温暖化対策については、世界的な行動が求められ、日本も厳しい目で注目されている。まずは、丁寧な周知で、市民全体の意識改革に努められたい。
- ・ プラスチックごみ問題が注目され始めており、ごみの減量につながる取組を検討されたい。
- ・ 水道整備については、市民の間で不公平感が出ないように取り組むとともに、市民が相談しやすい仕組みを整えられたい。

政策Ⅲ 【産業振興】地域の豊かな個性で活力を生み出すまちづくり

- ・ 農地の管理については適切な指導を行うとともに、耕作放棄地についても、集積を促すような施策に取り組まれない。
- ・ 農林水産業においても新たな取組が重要である。引き続き農林水産業の振興に積極的に取り組まれない。
- ・ 後継者がいないことによる廃業が更に進んでいくことが予想される。事業承継などの支援により、市内に事業所を残すことで、働く場の確保につなげ

られたい。

- ・ 人手不足が深刻であり、雇用対策が重要である。魅力的な企業を増やす施策や地元企業への就職を促進する施策に引き続き取り組まれない。
- ・ 地域で長く事業活動を行ってきた地場産業の事業拡大、新興企業の育成などに取り組むとともに、併せて、企業誘致にも取り組まれない。
- ・ シティセールスの推進には、受入れ体制の充実が不可欠である。情報発信や施設整備も含め、市民一体となって推進されたい。

政策Ⅳ 【社会基盤】安全性と利便性の質を高めるまちづくり

- ・ 若者や子育て世代にとって魅力のあるまちづくりや中心市街地の活性化を図られたい。
- ・ 高齢化が進展し、免許返納者の増加が想定される。そのため、高齢者の移動手段を確保する施策の重要性はますます高まっており、市民にとって利用しやすい公共交通ネットワークの整備に今後も取り組まれない。
- ・ 災害時における通信機能の確保や災害情報へのスムーズなアクセスが重要である。「通信手段の確保」につながる取組を、引き続き推進されたい。

政策Ⅴ 【教育文化】次世代を担う人と文化を育むまちづくり

- ・ 思春期から命に関する教育の必要性が高まってきており、命の大切さといった点を重視するような取組を検討されたい。
- ・ 教育現場におけるＩＣＴの活用は重要であるが、その効果のみならず、副作用にも十分配慮した対策を取られたい。
- ・ 小中学生の不登校や問題行動に対し、今後もしっかりと対応いただくとともに、他の児童・生徒への影響も考慮した対策を講じられたい。
- ・ 地域（地区コミュニティ協議会など）と連携した学校づくりに、より一層取り組まれない。
- ・ 子どもたちへの伝統文化の継承のために、引き続き取組を推進されたい。
- ・ 健常者と障害者を分けるのではなく、市民誰もがスポーツに参加しやすい取組を展開されたい。

政策Ⅵ 【地域経営】市民みんなで考え、行動するまちづくり

- ・ 若い世代の方もゴールド集落やその周辺地域に住みたくなるような施策についても検討されたい。
- ・ 自治会未加入者が一定程度存在しており、この傾向が続けば防犯対策や防災対策への影響も大きくなる。自治会の役割も含め、未加入者対策に引き続き、取り組まれない。
- ・ 65歳以上の割合を基にゴールド集落の設定を行っているが、長寿社会となっている今、「高齢者」の考え方を変更する時期に来ていると考えるので、検討されたい。

- ・ ゴールド集落への支援は、補助金による支援からバスやごみ対策などへシフトが必要であり、地区コミュニティ協議会の意見を踏まえ検討されたい。
- ・ 各種セミナーや講座に参加してみると、女性参加者の数が圧倒的に多い。特に、働く女性の方ほど熱心である。男女ともに参加するよう、市としても積極的に取り組まれない。
- ・ 特に転入者に対し、市政に関する情報や定住支援制度に関する情報などを、積極的に発信されたい。
- ・ 市民の声がどの程度市政に反映されているか、分かりづらいという意見を聞いたことがある。逆に、市民側は積極的に市政に関する情報を収集していく姿勢も必要だと考えている。行政には市民がより自発的になるような取組を進められたい。

全体的・横断的事項

- ・ 「専門用語を分かりやすく言い換える」、「関係団体の可能な限りの明記」など、市民から見て分かりやすい表現に努められたい。
- ・ 市民アンケートは市民の声を把握するために重要な取組であるため、今後も改善を行いながら、適切なアンケートの実施に努められたい。
- ・ 第2次総合計画後期基本計画から新たに取り入れられた「魅力」については、今後も市民に対して分かりやすく情報発信するよう努められたい。
- ・ 今後、財政的に厳しくなっていくことが予想されるため、事業展開に当たっては、選択と集中に基づき、優先順位をもって取り組まれたい。

薩摩川内市自治総合審議会

会 長	今別府 哲矢	社会福祉法人薩摩川内市社会福祉協議会 会長
副会長	荒木 貞夫	川内商工会議所 副会頭 （～令和元年 1 1 月 1 3 日）
〃	上村 健一	川内商工会議所 専務理事（令和元年 1 1 月 1 4 日～）
委 員	田中 博	事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会 代表理事
	有馬 一吉	北さつま農業協同組合 代表理事常務
	本 一春	甌島漁業協同組合 前代表理事組合長
	三本 伴子	薩摩川内市教育委員会 教育委員
	樗木 孝治	薩摩川内市文化協会 会計
	中川 一朗	特定非営利活動法人薩摩川内市体育協会 副会長
	緒方 太一	鹿児島信用金庫川内支店 支店長
	井龍 大	株式会社薩摩川内市観光物産協会 代表取締役社長
	土器手 正之	公益社団法人川内青年会議所 直前理事長
	赤崎 弘熙	隈之城地区コミュニティ協議会 会長
	中野 重洋	鹿島地区コミュニティ協議会 会長
	橋口 秀仁	鹿児島県北薩地域振興局 局長
	大堀 明人	川内公共職業安定所 所長
	影浦 攻	鹿児島純心女子大学 副学長・教授
	犬井 美香	薩摩川内市女性チャレンジ委員会 委員
	井上 隆	公募委員
	下鵜瀬 克己	公募委員
	山崎 和英	公募委員

■自治総合審議会における審議内容について

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
1	6	I	1	②	4	生涯を通じた健康づくりの推進と医療体制の充実	＜施策の方向性＞「～検診など、各種検診を充実し、～」を、厚生労働省が２０２０年度から導入する「フレイル健診」を取り入れ、「～フレイル健診の有効活動など、各種検診を充実し、～」に修文してはどうか。
2	3	I	1	③	-	生涯を通じた健康づくりの推進と医療体制の充実	政策Ⅰ－施策１－施策の方向性③に「医療体制の整備」とあるが、甑島における医療体制を考える際、診療所も関わってくるものと思う。そうしたときに、担当課の欄に、甑はひとつ推進課を加えていただけないか。
3	6	I	1	—	3 4 5	生涯を通じた健康づくりの推進と医療体制の充実	新聞報道等によると、フレイル健診は、７５歳以上の後期高齢者の中から要介護状態に陥りやすい人を見つけ、予防や改善に繋げるためのものと言われている。新たに作成される検診項目が記載された調査票についても難しい設問はなく、簡単な内容になっていることから、良い取組だと考えている。
4	6	I	1	—	3 4 5	生涯を通じた健康づくりの推進と医療体制の充実	健康づくりに関する施策は、どうしても高齢者に焦点がいきがちだが、働く世代にも意識してほしい施策だと考えており、計画本文において、働く世代に関することも記載できないか。
5	6	I	1	—	3 4 5	生涯を通じた健康づくりの推進と医療体制の充実	医療・福祉分野においては、毎年制度改正が行われるにも関わらず、身近な問題となる市民への周知等がうまく図れていない状況だと感じている。
6	6	I	1	—	3 4 5	生涯を通じた健康づくりの推進と医療体制の充実	甑島医療について、物理的な距離感を感じるし、安心して住み続けられるようにという視点では、島内で完結できることが理想だと考えている。甑島に赴任くださる医師やスタッフの確保など、課題はあると思うが、広域合併をした本市の宿命だと思うので、今後も必要な施策に取り組んでいただきたい。
7	6	I	1	—	5	生涯を通じた健康づくりの推進と医療体制の充実	＜市民と行政の役割分担＞における「事業者」、「地域・団体」の箇所、健康に対する意識を高め、各種検診を受診するということで、ここまでは良いと思うが、再検査受診率の向上に繋がらなければ、健康増進には繋がらないと考えるので、計画本文において、再検査受診率向上に関する記載をしてはどうか。
8	6	I	1	—	3 4 5	生涯を通じた健康づくりの推進と医療体制の充実	特定健診や長寿健診を受診した後、市からその結果が郵送で届くが、以前は看護師から直接、結果に関する説明があり、今後の生活習慣等について指導等を受けたが現在はないところである。また、特定健診や長寿健診を受けていない方に対する取組も大事だと思うので、計画本文にもその旨記載してはどうか。
9	3	I	2	-	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	安心して子どもを産み育てるに関して、昨今、女性活躍がよく言われているが、女性の結婚年齢を早める施策についても検討してはどうか。高齢出産が増えていることに伴い、子どもの数が増えないという現状があるのではないか。
10	3	I	2	-	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	子育て支援に関して、若い世代は中心市街地に集まりがちで、中心市街地において子育てに取り組んでいる。田舎に祖父母等がいることもあると思うので、上手く役割分担をしながら子育てに取り組んでいけば良いのではないか。
11	3	I	2	-	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	男女の出会いの場に関して、以前は青壮年団活動等が活発で、こうした活動において、男女の出会いもあり、結婚に至るケースがままあったので、こういった施策の展開についても検討してはどうか。
12	3	I	2	-	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	児童クラブの関係で、定年退職を迎えた教職員を活用し、地区コミュニティセンターなどにおいて、子育て支援の観点から児童クラブ運営を行うなど検討してはどうか。学校だけでは無理があると思うので、地域とも連携した取組が必要ではないか。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
13	3	I	2	-	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	子育てに悩む親を対象とした相談所等の子育て相談体制に関して、昨今の他自治体における事件を見てみると、児童相談所における対応には限界があると感じた。具体的には、子どもの親から断られれば家の中の状況を調べられないといったことがあるので、警察とも連携を図り、こうした事案にも対応できるよう、検討してはどうか。
14	3	I	2	-	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	＜魅力・現状・課題＞④で「虐待や育児放棄に関する通報も増えている」という文言が朱書き・見え消しで削除されている。 2019年9月3日・4日の新聞記事や一連のテレビ報道の内容を踏まえての推察しかできないが、薩摩川内市に関わる問題である。薩摩川内市・出水市、両市担当者の記者会見内容や姿勢・態度に関して、幼い子どもの人命を考えた対応ができたと言えるのか、市の発表内容にどの程度納得した市民がいるか、疑問に思っている。 この事案を教訓として、①担当者の人事一新を行うとともに、指導能力と迅速な判断力を持つ者の任命、②一時保護に向けたフローチャートの指示徹底、を実施する旨を計画立案するべきと考える。
15	3	I	2	-	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	現在、ひとみらい政策課において、出会いの場の提供や第3子妊娠時の補助制度などに取り組んでいるようだが、これまでの成果や具体的な課題を教えていただきたい。
16	3	I	2	-	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	近年、母子世帯が増加していると思うが現状はどうか。また、母子世帯の中には、夜間就労者も存在していると思うが、夜間帯の保育体制に関し、もっと具体的な取組を示すべきではないか。
17	3	I	2	-	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	＜魅力・現状・課題＞に、「適当な相手にめぐり合わない」という記載がある。アンケート等の項目を転記しているかと思うが、「適当な」に関して、別の表現等に変更するなどできないか。
18	3	I	2	②	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	＜魅力・現状・課題＞の②において、「妊娠・出産に対し不安を残したままの女性や、若年妊娠などリスクの高い女性の妊娠届出が増加しており、思春期からの教育とともに、妊娠から出産・育児の各段階における多様なニーズに応じたきめ細かな支援が求められています」と記載されている。働く母親が増えており、夜間就労の際の保育サービスはどうなっているか気になる。シングルマザーの方も多く、また、若年妊娠をしたことで、母親としての自覚に乏しいという点もあるように感じている。 こうした現状を踏まえ、＜施策の方向性＞②において、思春期からの教育の必要性、命の大切さといった点を重視するような取組を検討いただき、出水市で発生したような事案が二度とないように努めていく必要があると考えている。
19	3	I	2	④	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	＜施策の方向性＞④において、「子どもを安心して育てられる環境」と記載されている。ここ数年、特別支援を要する児童・生徒が毎年1.5倍程度の倍率で増えており、障害の内容も学習障害、アスペルガー、自閉症など、それぞれの児童・生徒により内容が異なるため、親御さん達が相談できる体制を更に整備・充実していく必要があると考えている。
20	3	I	2	④	-	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	＜施策の方向性＞④子育て相談体制の充実について、出水市における事件を踏まえ、もう少し内容に深みを出した方が良いと感じた。妊娠・出産期も重要であるが、子どもの数をただ増やすのではなく、子どもを育てていく、命を守っていく、という視点はSDGsの視点にも繋がるものであると思うので、検討いただきたい。 （関連） 児童養護施設が市内には3園あるが、今日、国においては医療・福祉・介護など全てを在家的な方向にしていきたいと示しており、里親制度などを活用して施設から地域へ、という流れが広がりがつつある。子どもを育てる親だけの問題ではなく、受入れ側との関係も出てくる。また、育てる親の教育、というのも必要な視点だと思うので、こうした点も考慮しながら検討いただきたい。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
21	6	I	2	—	6 7 8	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	7月18日開催の第2回自治総合審議会に提案のあった施策名及び施策の方向性の方が、市民にも分かりやすい表現だったと考えているが、変更に至った経緯等、教えていただきたい。 (関連) 7月時点における施策名及び施策の方向性について、市民にとって分かりやすい表現であった。その後、庁内等で様々な検討・調整がなされ、現在の内容になったと理解した。今後も、市民に分かりやすい表現についてはご留意いただきたい。
22	6	I	2	—	6 7 8	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	「出会いの場の提供」ということで、市主催の縁活イベントを開催している中で、男女ともに6～7名/回の参加、マッチングした組が1～2組/回のようなのだが、イベント参加への声かけに苦慮していることやスタッフとしてボランティア参加している方々が疲弊しているとの声を聞く。マッチングした後、結婚に至った組がどれくらいあるか分からないが、市が主体とならなくても出会いの場としては、SNSや市民活動などあるように思う。他の方策を考えてみても良いのではないかな。
23	6	I	2	—	6 7 8	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	本市ではイクボス宣言を実施しているが、企業主が育休や産休などを取りやすい体制づくりを行うことが必要だと考えている。後期基本計画においても、「イクボス宣言を実施する企業数の拡大」や「こうした意識の醸成」などに関して記載してはどうか。
24	6	I	2	—	6 7 8	安心して子どもを産み育てられる支援の強化	本市の合計特殊出生率は、国や県と比較して高い水準を維持しており、これまで取り組んできた各種施策の効果ではないかと考えている。具体的にどの施策による効果なのかなど、今後も分析を行った上で、施策に取り組んでいただきたい。
25	6	I	3	①	9	地域が支える高齢者福祉の充実	＜魅力・現状・課題＞について、「平均寿命」を魅力として上げているが、政策Ⅰ－施策1の魅力と重複している。特段問題はないか。
26	6	I	3	—	9 10 11	地域が支える高齢者福祉の充実	在宅医療、歯科医療などを推進していると思うが、この点に関する記載が見受けられない。地域包括支援センターや在宅介護支援センターなど記載いただけると、市民にとっては相談窓口がどこなのか分かりやすくなり良いのではないかな。
27	6	I	3	—	9 10 11	地域が支える高齢者福祉の充実	認知症を発症する人の多くは単身世帯ではないかと考えている。子どもも県外等に出ていることが多く、認知症に至るまでの経緯も分からぬまま、ホームに入所するケースが多い。現実問題として、家族の支援も難しく、また、周りのフォローも限界を迎えていると考えている。こうした現状認識の下、今後も必要な施策に取り組んでいただきたい。
28	6	I	3	—	9 10 11	地域が支える高齢者福祉の充実	要支援1・2が介護事業の対象外となり、地域事業という形で市町村事業になっている。これは手上げ方式により実施されており、地区コミ単位で提案を上げる形になっている。市内全域で取り組んでいくということで聞いているが、実際には数地区でしか実施されておらず、どのように事業展開を考えているか、教えていただきたい。
29	6	I	4	④	14	地域で安心して暮らせる障害・社会福祉の充実	＜施策の方向性＞において、「民生委員や自治会長を中心とした地域の見守り体制の充実を図ります」と記載があるが、自治会未加入者が各自治会2～3割程度いるものと思料している。当該未加入者対策を行っていただきたい。
30	6	I	4	④	12	地域で安心して暮らせる障害・社会福祉の充実	＜魅力・現状・課題＞において、「ひきこもり、虐待、生活困窮などが社会問題化していますが、これらの相談業務を一元化することで情報共有や取組の強化を図っています」と記載があるが、市民にとっては、どこが一括して相談業務を行っているのか、記載いただかないと分かりにくいと思う。
31	6	I	4	—	12 13 14	地域で安心して暮らせる障害・社会福祉の充実	公助から自助、共助へ時代が変わる中で、ボランティア活動、支え合い活動の必要性を示すべきではないか。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
32	6	I	4	—	12 13 14	地域で安心して暮らせる障 害・社会福祉の充実	自治会未加入に関連して、自治会費と各種ボランティア活動欠席に伴う罰金制度が、一つの原因になっていると考えている。このあたりも考慮し、未加入者対策を検討いただきたい。
33	6	I	4	—	12 13 14	地域で安心して暮らせる障 害・社会福祉の充実	自治会未加入に関連して、地区コミについては、自治会加入／未加入問わず、地区全体を包括的に支援する組織だと理解している。自治会未加入者への対策については、地域の中でも考えていかなければならない課題だと改めて認識させていただいた。
34	6	I	4	—	13	地域で安心して暮らせる障 害・社会福祉の充実	＜めぐさ姿＞について、市民後見人養成講座で勉強させていただいたが、「自己決定」という考え方がある。当該文言を分かりやすく記載できないか。
35	6	I	4	—	12 13 14	地域で安心して暮らせる障 害・社会福祉の充実	障害の「害」の字に関して、快く思わない方もいると思う。やさしいまちづくりを目指す上では、例えば、ひらがな表記にするなど、検討できないか。
36	3	II	1	①	—	市民の安全確保と防災対応 の推進	現行の総合計画を見ると訓練実施率が低い状況にある。特に、東日本大震災以降の訓練実施率の落ち込みが大きいように思う。これは、震災に関する記憶の風化や自分達の地域にはこうした大災害は発生しないという思い込みなどがあるように感じている。また、高齢化の進行により、訓練の実施自体が困難なのではないかと思う。そうしたときに、例えば、自治会の総会時などにおいて、災害発生時の非常持出し品の確認を行う、避難場所や避難経路の確認を行う、災害レベルの1～5の各段階における避難の仕方の確認を行う、といった話し合いを行うことで、身近な問題として意識付けができていくのではないかと考えている。実態に合った取組を行い、さらに効果を上げていけるような取組を行っていくことで、地域防災力の向上につながっていくのではないかと。
37	6	II	1	①	16	市民の安全確保と防災対応 の推進	＜施策の方向性＞において、避難行動要支援者については、一般の避難所利用というよりは、福祉施設等を利用する機会が多いと思われる。私の調べた範囲では、高齢者向けでは15施設程度、障害者向けでは13施設程度、事業者とも連携・調整の上、避難施設として設定しているようであるが、今後の少子高齢化の進展等を踏まえると、福祉施設の充実支援は必要なことだと考えている。こうした点についても、計画本文上にどこか記載できないか。
38	2	II	1	⑤	—	市民の安全確保と防災対応 の推進	高齢者による事故が多く、特に、スクールゾーンにおける事故などを見ると、交通安全教室のような教育活動だけでは足りず、交通事故を防げるような具体的な事故防止行動を誘発する取組が必要ではないか。
39	3	II	1	⑤	—	市民の安全確保と防災対応 の推進	交通安全・防犯対策の推進に関して、今後の懸案事項として、次の3点を考えている。 ①本市の窓口と言える川内駅の東口側・西口側の駅前に交番がなく、更に駅東口にはコンベンション施設を建設することとしており、今後多くの訪問者等が予想され、各種事件対応が生じる可能性があるため、駅前に交番を設置するよう警察などに要請していくことを検討する。 ②市の中心部であり、各種商店や飲食店などがある向田地区において、商店街が活性化していくためには、この地域が安全・安心なまちであると認識できることが大切であり、そのために中心市街地に交番を設置するよう警察などに要請していくことを検討する。 ③閉校跡地を利用した外国人研修施設があるが、2019年8月に茨城県で発生したベトナム人による住民殺傷事件報道を受け、言葉の壁や日常生活の違いなどから、色々な問題が起きる可能性があるため、当該施設に隣接した交番又は立寄所を設置するよう警察などに要請していくことを検討する。 警察官の制服姿が見えることで、外国人、市民、受入会社、市役所、それぞれの立場で対策を行い、交流が進んでいけばと考えている。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
40	6	Ⅱ	1	—	15 16 17	市民の安全確保と防災対応の推進	自主防災組織の訓練実施率は低いまま推移している。防災についての関心の薄さがあると思われる。災害が事前に想定される台風・雨等の事案には特に訓練による意識統一が必要だと考える。現在の災害の状況を考えると、形に捉われず、自治会総会の中で避難場所、避難経路、避難時の持出し品、2点目として警戒1から警戒5までの行動確認等、必要事項を絞り毎年、周知・訓練実施が必要ではないか。今回の台風19号の被災状況を見ると、自治会総会での取組が必要だと実感し、身近にある危険箇所、避難の手順を語り合うことが本当に大切だと思った。このことから、自治会総会等において、災害の際の行動確認等の説明を義務付けることを考えても良いのではないかな。
41	6	Ⅱ	1	—	15 16 17	市民の安全確保と防災対応の推進	実際のところ、各地域のリーダーがどれだけ考え、どれだけ行動しているかによって違うと考えている。自治会運営説明会や地域防災連絡調整会議において、市から自治会長等に対して様々な情報提供やお願いをされていると思うが、その内容がしっかりと自治会の会員にフィードバックされているか疑問に思うところがある。しかし、こうした現実があるにしろ、防災対策は人命に関わることであり、また、想定外のことが起こり得るものであるため、今後も市にはやるべきことはやっていただきたいと考えている。
42	6	Ⅱ	1	—	15 16 17	市民の安全確保と防災対応の推進	自治会活動において、一番大切なことは防災対応だと考えているので、今後も市としてやるべきことに、しっかりと取り組んでいただきたい。
43	6	Ⅱ	1	—	15 16 17	市民の安全確保と防災対応の推進	野焼きについて、消防局への届出等を行った上で実施されているものと思うが、無届けによる野焼き等の件数把握をしているか。
44	6	Ⅱ	1	—	15 16 17	市民の安全確保と防災対応の推進	大規模火災になるのではないかとと思われるような野焼きを見ることもあるが、その付近を消防車が巡回するなどを確認したことがないが、必要な巡回等を行っているのか。
45	6	Ⅱ	1	—	15 16 17	市民の安全確保と防災対応の推進	訓練を実施する際は、「～を想定した訓練」という形で実施すると思うが、例えば、雪の日の訓練や電気系統が遮断された想定で夜間の訓練など、想定ではなく、実際にそのような状態になった中で訓練を実施したことがあるか。東日本大震災や阪神淡路大震災など、過去に発生した大規模災害は、通常の訓練においては想定していない状況下で起こったものであり、質問させていただくものである。
46	6	Ⅱ	1	—	15 16 17	市民の安全確保と防災対応の推進	川内川を中心に川北、川南と分けられることがあるが、消防局の本署は川北に設置されている。災害の想定として、川南側で大規模災害が発生し、川北にある本署から必要な資機材等を持ち出せない、また、人命救助をどうするかなど、一つの想定として検討いただき、必要な取組を行っていただきたい。
47	6	Ⅱ	2	—	18 19 20 21	持続可能で快適な地域を守る環境対策の充実	地球温暖化対策については、気候変動サミットから気候行動サミットへ衣替えし、世界的な行動が求められ、日本も厳しい目で注目されている。この持続可能な地球温暖化対策の推進については、前期基本計画の施策の方向性では設けられていなかった項目であり、今回このように取り上げられたことは、極めて妥当な取組として賛同する。また、まずは素案のとおり、丁寧な周知で、市民全体の意識改革が必要なことも当然だと理解する。ただ、その意識改革の上に立って、市民がごみ排出量の減少、リサイクル率の向上に加え、これまでと違い、今後5年間、何にどう取り組むのか、これから順次緩やかに取組の強化が図られると思うが、市民レベルの全体的な方向性を示していただければと思う。
48	6	Ⅱ	2	—	18 19 20 21	持続可能で快適な地域を守る環境対策の充実	地球温暖化対策については、今のうちからできることをしていかないといけないと考えており、今回、項目として新設されたことを歓迎している。買い物の際に気づくこととして、トレイを多用しているということがある。市としては、1つのトレイを再処理等するのに、どれくらいの経費がかかっているのか分析するなどし、今後5年間どんな取組を行っていくか、市民にも周知しながら進めていただきたい。 (関連) 環境省がプラスチックごみ問題への対応として、レジ袋の有料化などを提唱し始めているが、市として何か取組を行う考えがあるのか。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
49	6	Ⅱ	2	—	18 19 20 21	持続可能で快適な地域を守る環境対策の充実	プラスチックごみについても、適正処理に努めていることは理解するが、国においては、総量自体を減らそうと取り組んでいるので、市としても、ごみの総量を減らせるような取組について検討いただきたい。
50	6	Ⅱ	2	—	18 19 20 21	持続可能で快適な地域を守る環境対策の充実	農家が畑などを焼くことがあるが、これも環境問題と関係があるか。
51	6	Ⅱ	2	—	18 19 20 21	持続可能で快適な地域を守る環境対策の充実	野焼きに関する現状等についても、市民に分かりやすい形で計画本文に記載してはどうか。
52	6	Ⅱ	2	—	18 19 20 21	持続可能で快適な地域を守る環境対策の充実	川内クリーンセンターにおいてプラスチックごみを焼却できれば、細かい分別をする必要がなくなり、市民の利便性も向上するのではないか。また、プラスチックごみについては、以前は海外輸出されていたが、最近は海外輸出できなくなったと聞いている。これらのごみも川内クリーンセンターで処理することとなるのか。
53	6	Ⅱ	3	②	23	安全・安心な水の安定供給と生活排水の適正な処理の推進	＜施策の方向性＞「民間への業務委託」の文言が削除されているが、今後５年間、民間委託を行う予定がないということか。
54	6	Ⅱ	3	—	22	安全・安心な水の安定供給と生活排水の適正な処理の推進	水道の普及率は９７．６％となっているが、残りの整備されていない２．４％の陽成地区などの整備は今後どうなるのか。
55	6	Ⅱ	3	—	22 23 24	安全・安心な水の安定供給と生活排水の適正な処理の推進	水道法の改正により、運営権を民間に設定できるようになったが、本市の状況を教えてもらいたい。今後、水道会計への一般会計からの繰入れができなくなると聞いているが、経緯等を教えていただきたい。
56	6	Ⅱ	3	—	22 23 24	安全・安心な水の安定供給と生活排水の適正な処理の推進	水道の未整備地域について、要望があれば検討するとのことであるが、計画本文にもその旨記載できないか。市民目線では、そもそもどこに相談をすれば良いか分からないこともあり、しっかりと救済できる体制づくりに努めていただきたい。
57	6	Ⅱ	3	—	22 23 24	安全・安心な水の安定供給と生活排水の適正な処理の推進	水道管の本管が近くまで来ていなければ接続が難しいのでないか。整備に当たって何か基準があるのか。
58	6	Ⅱ	3	—	22 23 24	安全・安心な水の安定供給と生活排水の適正な処理の推進	水道整備を希望する地域については、要望を出してほしいとのことであるが、中には諦めている方もいると思う。また、井戸水ではなく山水により飲料水等を確保している方もいる。水道管敷設に当たっては、ある程度の接続率がないと公営企業として運営が難しくなる趣旨は分かるが、市民は税金を払っているため、一人一人の生活に差異が出ないように、事業実施に当たってはご留意いただきたい。
59	6	Ⅱ	3	—	22 23 24	安全・安心な水の安定供給と生活排水の適正な処理の推進	昨今の関東地方や東北地方における災害状況を見ると、地下水汲み上げ方式は復旧が遅れがちだと感じた。また、大規模災害の際は民間委託では対応できない部分が多くなってしまう。こうした災害への対応という視点について、本文に記載できなくとも、日頃の施策展開においてはご留意いただきたい。
60	6	Ⅱ	4	—	27 28 29	公園等の整備・維持管理と良好な景観形成の推進	高江町にある運動公園にトイレが設置されているが、先日９トンほどの水の使用があった。現在、水道料金については地区コミが負担することとなっており、費用負担が大きなものとなっている。過去には、市から５万円程度の管理費を地区コミに対し助成されていたが、管理の在り方について見直しを検討いただけないか。
61	6	Ⅱ	4	—	27 28 29	公園等の整備・維持管理と良好な景観形成の推進	天辰町にある公園について、花の剪定など管理が行き渡っていると思うが、そこで飼われている動物の外見が汚れている等、管理が行き渡っていない点も散見されたので、必要な対応を取っていただきたい。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
62	5	Ⅲ	1	①	30	一次産業の振興と六次産業化の促進	＜魅力・現状・課題＞「漁獲された水産物の付加価値を上げるための水産物の流通体系を構築することが課題」との記載があるが、漁業者は燃料の高騰が問題だと言っており、計画本文においても取り上げていただきたい。また、「付加価値を上げる」を「付加価値を高める」に修文してはどうか。
63	5	Ⅲ	1	②	32	一次産業の振興と六次産業化の促進	＜施策の方向性＞「持続可能な魅力ある農山漁村」と記載があるが、具体的にはどういった農山漁村を意味しているのか。
64	5	Ⅲ	1	②	32	一次産業の振興と六次産業化の促進	＜施策の方向性＞の2つ目の◇「災害に強い農山漁村づくり」について、具体的などのようなことに取り組んでいるのか。
65	5	Ⅲ	1	②	32	一次産業の振興と六次産業化の促進	＜施策の方向性＞「耕作放棄地の発生の抑制」と記載があるが、耕作放棄地については、湿田が多いと思う。また、地域外の人が管理をしているケースが見られ、必要な指導などをしていただきたい。
66	5	Ⅲ	1	②	32	一次産業の振興と六次産業化の促進	基盤整備について、1箇所ですべて行うのではなく、地区別に基盤整備をしていく必要があるのではないかと。また、農地の集積について、結局、湿田などについては集積しようとしても集積してもらえないという実態があるので、今後こうした点についても具体的にに取り組んでいただきたい。
67	5	Ⅲ	1	②	32	一次産業の振興と六次産業化の促進	＜施策の方向性＞「有害鳥獣の被害防止」の記載があるが、近年、ハシタの減少に伴い有害鳥獣が増えることが懸念されるが、「被害防止」の文言の中には「駆除」も含まれているのか。
68	5	Ⅲ	1	—	30 31 32 33	一次産業の振興と六次産業化の促進	区画整理などによる開発に伴う代替地で農業を行う場合があると思うが、野放し状態のところも散見される。こうした農地と宅地が混在している場合、どのような整理等を行っているのか。
69	5	Ⅲ	1	—	30 31 32 33	一次産業の振興と六次産業化の促進	10年以上経っても野放し状態が続く農地があるが、どのような農地管理を行っているのか。
70	5	Ⅲ	1	—	30 31 32 33	一次産業の振興と六次産業化の促進	農業は環境に左右されるため難しい分野ではあるが、他自治体を見てみると、新たな農林水産業に挑戦ということで取り組んでいる自治体がある。例えば、金融機関が農業分野に融資を行い一緒に取り組んでいくことや、本市においても唐浜に農業特区を作り企業が農業に参入できるようにした。契約栽培ということで、農家とスーパーが契約して農林漁業をしているケースもある。こうした農業振興が図れる取組が必要だと考えている。
71	3	Ⅲ	2	—	—	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	各地で災害が起こる中、安心・安全な暮らしづくりには「防災」は欠かせないものと思う。そこで、原子力発電も含めた次世代エネルギーの活用という観点から、「災害に強いまちづくり」を進めていく考えはないか。 (これまでに開催してきた各種会議等において、「防災×エネルギー」の観点からの意見等はなかったか。)
72	3	Ⅲ	2	—	—	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	甑島地域においては、人口減少によって商工業の維持・存続が大変厳しい状況が予想される中、住民の生活にも大きく影響すると思われる。 蘭牟田瀬戸架橋の開通に合わせ、商工業者、農林漁業者、行政による共同事業（具体的には道の駅的な事業）を検討してみてもどうか。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
73	3	Ⅲ	2	-	-	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	商業施設に関して、霧島市や始良市などに出かけた際、都度、新しい商業施設ができていていると感じるが、本市においては今も昔も変わり映えがしないと感じている。商工会議所などとも連携をして、こうした商業施設などの誘致を検討してはどうか。
74	5	Ⅲ	2	①	36	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	人材を活かす雇用対策として、医療・福祉に限定して話をさせていただきたい。働き方改革法案が2018年に成立したが、この中で2019年4月以降は年次有給休暇を10日以上持つ者は必ず5日は取得しなければならないということになった。これは、需要の激しい人を預かる福祉の職場では、休暇取得要員として、雇用に繋がるものと考えている。また、5年経過職員は無期雇用となり安定した雇用契約が結べることになっている。是非雇用確保に追い風となるように、当該福祉職に手を挙げる方が増えていただきたいと考えている。さらに、福祉分野における所得の低さが報道等されている。処遇改善は雇用の根幹に関わるもので、新規雇用のためにも絶え間なく市としてできる支援を検討いただきたい。もう1点、地元企業の活性化のためには、街中の活性化、賑わい創出事業と連動させるような取組もあるのではないかと考えている。例えば、既存の商店とワンストップ化を基本とした回遊性のある再開発を行い、雇用確保に繋げる、あるいは再開発を意識した空き店舗の活用ではこれまで以上の支援拡大や、現店舗で後継者が存在する店舗や事業者には、新たな後継者支援・経営支援を行ってはどうかと考えている。これまでも様々な取組が行われてきたが、これらを継承し一歩進めた取組で雇用対策を考えられたいと思う。後期基本計画5年間で、ある程度の方向性を打ち出し、雇用対策の在り方を示していただきたい。
75	5	Ⅲ	2	①	34	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	喫緊の課題として、高校生の県外流出がある。昨今、様々な取組を行う中で、県内・県外が五分と拮抗しているが、今後人口減少社会になっていけば、事業承継や人材確保が非常に厳しくなっているので、企業側から高校生等に魅力的に映る改善を図っていただければと考えている。＜魅力・現状・課題＞に「新卒者等の県外流出が課題となっております。安定した労働力の確保に努める必要があります」との記載があるが、「新卒者等の県外流出が課題となっており、人材確保等が懸念されており、企業等の雇用環境改善等の実施により魅力的な企業づくりに努め、安定した労働力の確保に努める必要がある」など、検討してはどうか。
76	5	Ⅲ	2	①	36	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	人材確保に関して提案になるが、地元企業に就職をした方については、例えば市県民税を免除するなど、施策を打ち出せないか。
77	5	Ⅲ	2	①	36	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	＜施策の方向性＞「日常の買い物に不便を来している地域と関係事業者との連携に取り組みます」と記載があるが、甕島地域について、お店まで行く交通手段を確保していただきたいと考えている。現在、高齢・介護福祉課が実施している事業により交通手段の確保対策に資するものがあることから、担当課に入れていただきたい。
78	5	Ⅲ	2	②	36	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	後継者がいないことによる廃業やM&Aがある。事業承継による税制優遇制度もあるが、情報が表に出ていない。
79	5	Ⅲ	2	②	36	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	次世代や先端技術など、先々の話はよくされるが、地域に根差して50～60年続いている企業がある点について、計画本文においても、もう少し記載いただきたい。また、こうした地場企業を伸ばしていく施策についても、併せて記載いただきたい。
80	5	Ⅲ	2	③	36	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	世界ランキングの上位50社にランキングされている日本企業がトヨタ自動車1社のみで、そのトップは、アップル、グーグル、フェイスブックなどのIT企業がほとんどを占めている。市の企業誘致も今後変わってくるのではないかな。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
81	5	Ⅲ	2	④	37	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	次世代エネルギー産業の育成の関係で、現在、太陽光発電事業を行っている方は、今後買取価格が7円/kWhになっていくことから事業の採算が取れなくなっていくものと思われる。市において電気事業を立ち上げ、例えば、10円/kWhで太陽光発電事業者が買い取り、買い取った電気を市民に売るという形で、太陽光発電事業者を救済するとともに、市民の電気料金を安くするような取組ができないか。
82	2	Ⅲ	2	⑤	-	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	外国人材について、現状の実態と支援策を教えていただきたい。
83	5	Ⅲ	2	—	34 35 36 37	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	現在の市街地を見てみると、若い人たちが遊んでいない。魅力あるまちではないと感じる。このことは、地元企業に就職しようとしたときに、薩摩川内市にいて何が楽しいのか、魅力がないことにより雇用に関がらないといったことになるのではないかと。企業誘致や雇用問題と言うが、まずは地元に残って生活したいと思わせる魅力ある取組が大事だと考えている。 (関連) 市街地が商業地帯としての体を成していないと感じる。難しいことだと思うが、再開発事業の一環として商業集積を行うなどの取組ができないか。
84	5	Ⅲ	2	—	34 35 36 37	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	廃業の問題について、廃業に関する情報は、事業者は絶対に表には出さないものである。しかし、人口減少に歯止めをかけるためには、行政としていかに早くこうした情報を収集できるか、今後肝要になってくると思う。
85	5	Ⅲ	2	—	34 35 36 37	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	内発型産業の振興について、長年地域に根差して頑張ってきた優良な企業は本市にも多くあるので、こうした地場企業を応援していくことも必要なことだと考えている。
86	5	Ⅲ	2	—	34 35 36 37	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	企業誘致について、20～30年前であれば豊富な労働力が本市にもあったが、昨今は減少している。どういった企業が進出してくるのか懸念するところであり、企業誘致の在り方をどうするのか、しっかり検討いただきたい。
87	5	Ⅲ	2	—	34 35 36 37	地域の強みを活かしたビジネス展開と連携による商工業の振興	次世代エネルギーについて、環境問題への配慮の観点で、電気飛行機や電気タンカー実用化の話がリアルなものになりつつある。エネルギーのまちである本市としては、こうした話も出てきても良いのではないかと考えている。
88	5	Ⅲ	3	①	41	市民ぐるみによるシティセールスの推進と観光物産ビジネスの展開	＜施策の方向性＞「交通アクセス案内機能の強化」と記載があるが、案内板を想定して良いか。
89	5	Ⅲ	3	④	39	市民ぐるみによるシティセールスの推進と観光物産ビジネスの展開	＜施策の方向性＞「市民が地域を知り愛郷心を持っていただくきっかけづくりが進展」と記載があるが、市民の気持ちや本音についてきているか疑問に思っている。何か実績値などを基にこのような記載になっているのか、教えていただきたい。
90	5	Ⅲ	3	—	39 40 41 42	市民ぐるみによるシティセールスの推進と観光物産ビジネスの展開	シティセールスについて全力で取り組まれているが、受入れ体制づくりを具体的に示し取り組んでいくべきではないか。
91	5	Ⅲ	3	—	39 40 41 42	市民ぐるみによるシティセールスの推進と観光物産ビジネスの展開	蘭牟田瀬戸架橋の完成を契機として、観光客の増加が見込まれる中、施策の方向性において、公衆トイレの整備に関しても、記載いただけないか。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
92	5	Ⅲ	3	—	39 40 41 42	市民ぐるみによるシティセールスの推進と観光物産ビジネスの展開	川内駅東口に建設中の宿泊ホテルについて、どのような機能をもったホテルができる予定なのか、教えていただきたい。
93	5	Ⅲ	3	—	39 40 41 42	市民ぐるみによるシティセールスの推進と観光物産ビジネスの展開	甌島館、旧いこいの村いむた池（ホテル）について、今後どのようなになるのか、可能な範囲で教えていただきたい。
94	6	Ⅳ	1	①	44	災害に強い防災基盤の整備・保全	＜施策の方向性＞の1つ目の◇について、河川において土砂が堆積し底上げ状態となっている等を踏まえて、河川整備に関する記載を追記してはどうか。
95	6	Ⅳ	1	—	43 44	災害に強い防災基盤の整備・保全	河川については県管理の河川が多いものと認識しているが、要望箇所は何箇所程度で、そのうちどれくらい実施してもらえているか、教えていただきたい。
96	3	Ⅳ	2	—	—	快適な住環境と利便性の高い市街地の整備及び保全	安心して子どもを産み育てる環境や定住政策に関係してくると思うが、ゴールド集落やその周辺地域においては、子どもの姿が見えないという現状がある。定住政策を行っても、若い世代の方は中心市街地に集まりがちで、ゴールド集落やその周辺地域においては、後期高齢者の方ばかりが住み続けている。コミュニティなどの環境が、若い世代には合わないのではないかと感じている。こうした中で閉校する学校も増えているのではないかと。コミュニティ活動において、昔からその地域に住む高齢者の方々は一生懸命取り組んでいることはよく分かるが、若い世代の方にとっては、それが負担になっているのではないかと感じる。若い世代の方もゴールド集落やその周辺地域に住みたくなるような、そうした施策についても検討してはどうか。
97	6	Ⅳ	2	①	46	快適な住環境と利便性の高い市街地の整備及び保全	＜施策の方向性＞において、「魅力ある発展」という文言が追記された。若者や子育て世帯を意識した重要なことだと考えている。これについて、具体的な方向性を示すべきではないか。
98	6	Ⅳ	2	—	45 46 47	快適な住環境と利便性の高い市街地の整備及び保全	立地適正化計画については現在策定段階であるが、拠点としてどのあたりを想定しているなど、話せる範囲で説明いただきたい。
99	6	Ⅳ	2	—	45 46 47	快適な住環境と利便性の高い市街地の整備及び保全	中心市街地の活性化を是非お願いしたい。できれば、鹿児島市内に立地しているようなワンストップのサービスショップを立地していただきたい。現在、本市は北薩地域の中核都市であるのに何もないと感じている。若者世代や子育て世代のために、是非検討いただきたい。
100	6	Ⅳ	2	—	45 46 47	快適な住環境と利便性の高い市街地の整備及び保全	高速道路の関係で、高江ＩＣも整備されていることも踏まえ、もう少し海岸に向かう道路の整備についても検討してはどうか。
101	6	Ⅳ	2	—	45 46 47	快適な住環境と利便性の高い市街地の整備及び保全	立地適正化計画において、祁答院地域と甌島地域と一緒に考えていくことは無理なのか。
102	6	Ⅳ	2	—	45 46 47	快適な住環境と利便性の高い市街地の整備及び保全	文言が専門的すぎて市民には分かりづらいと思うので、もう少し分かりやすい表現に努めていただきたい。
103	5	Ⅳ	3	②	48	発展を支える公共交通ネットワークの整備	コミュニティバス利用者の減少が総括報告書で示されているが、これを是正するため、将来のお客様となる未体験者が路線を使い、それを検討材料にしてはどうか。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
104	5	IV	3	②	48	発展を支える公共交通ネットワークの整備	民間バスも含めてバス利用者が減少していることから、一層の利用促進を図ることとしているが、利用促進を図るだけではなく、「各地域会合で意見を得て、視察・利用状況調査を十分に行い、市民目線で利用しやすい抜本的な改善により利用促進を図る必要がある」に文言修正してはどうか。
105	5	IV	3	④	50	発展を支える公共交通ネットワークの整備	コミュニティバスの循環線、デマンド交通、市内横断シャトルバスなど、路線は大変良くできていると考えている。しかし、利用者は減っている。これを改善するためには、実際に体験乗車してもらうことが必要だと考えている。高齢者の免許返納は少子高齢化に伴い、今後増えていくことが見込まれるので、これを追い風と捉え、高齢者の方に実際に体験乗車してもらうことで、より利便性の高いバス交通を検討してはどうか。
106	6	IV	4	—	51 52 53	利便性の高い道路の整備・保全	水引IC～阿久根IC間の用地買収が進んでいると思うが、ICが湯田地区にできるのか、西方地区にできるのか、市民の間では話に上がることもあるが、どのように計画されているか。
107	6	IV	4	—	51 52 53	利便性の高い道路の整備・保全	南九州西回り自動車道の用地買収はまだ始まっていないのか。
108	5	IV	5	②	55	次世代通信基盤整備とIC T、IoT等の活用推進	<成果指標と目標値>目標値が60%となっているが、もう少し上げる方向で見直せないか。
109	5	IV	5	—	54 55 56	次世代通信基盤整備とIC T、IoT等の活用推進	携帯電話が使えない地域があるのか。
110	5	IV	5	—	54 55 56	次世代通信基盤整備とIC T、IoT等の活用推進	大規模災害時などに通信が途絶える場合や災害情報を得られないことがあり、「通信手段の確保」など、計画本文に記載してはどうか。このことは、市民の関心事であると思う。
111	5	IV	5	—	54 55 56	次世代通信基盤整備とIC T、IoT等の活用推進	光ファイバーは良いと思うが、料金が高額になってしまうのではないのか。何か良い方策はないか。
112	5	IV	5	—	54 55 56	次世代通信基盤整備とIC T、IoT等の活用推進	鹿島地域においては、色々なところと通信可能な状況となっているが、災害が発生したとき、通信が途絶えることがあり困っている。このような事象がなくなるように取り組んでいただきたい。
113	5	IV	6	—	57 58 59	人と物流を支える港湾機能の充実	以前は国内航路を創設したいという意見があったが、最近改訂された港湾計画は外国航路を中心としたものだとして理解している。国内航路の検討についてはどのようになっているか。
114	5	IV	6	—	57 58 59	人と物流を支える港湾機能の充実	船間島港は以前、内航船の港であったが、その岸壁は現状維持か。
115	5	V	1	① ② ③	61	未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	小中一貫教育を推進する上では、小学生の不登校の出現率に関する成果指標も設定する必要があるのではないかと考えるが、どのように考えているか。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
116	5	V	1	① ② ③	61	未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	不登校率の関係で、その原因等について解明し対処しているか。
117	5	V	1	① ② ③	60 61 62 63	未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	不登校にしても、問題行動にしても、他の生徒への影響は少なからずあるものと思うので、計画本文において、「他の生徒への影響などを考慮し」など、表現を加えてはどうか。
118	5	V	1	③	60	未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	この5年間における小中学校の不登校数の増減、問題行動等の報告数を教えてほしい。
119	5	V	1	③	62	未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	I C T活用について、特にスマートフォン利用による目への影響や言葉として頭に入っていない子どもの増加などの問題が出てきていると聞くと、どの程度の整備・活用を考えているか、教えていただきたい。
120	5	V	1	③	61	未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	2学期制について、後期基本計画（素案）においては、当面見送る旨の記載になっているが、導入しようとするに当たり、どういった課題等があったのか、教えていただきたい。また、本市以外で2学期制導入の検討をしている自治体があるか、教えていただきたい。
121	5	V	1	③	61	未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	2学期制や学校再編について、市民はマスコミ報道等で伝え聞く範囲でしか内容を理解できていない。2学期制については、導入を打ち出したものの、現状はいったん研究ということになっている。どういった経緯でこうした結論に至ったのか、市民への情報提供の在り方は検討いただきたい。また、学校再編については、後期基本計画5年間において、具体的に再編を考えている地域があるのか、もしあるのだとすれば、その示し方について、検討した方がよい。
122	5	V	1	—	60 61	未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	学校再編による小中一貫教育と義務教育学校は、教育の推進内容はほぼ同じ立ち位置にあるように思われる。
123	5	V	1	—	60 61	未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	今後、学校再編が更に進行することが想定される。
124	5	V	1	—	60 61	未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	学校再編による小中一貫校と義務教育学校設置の考え方はどのように検討していくのか。
125	5	V	1	—	60 61	未来をたくましく生きる力を育む教育の推進	61頁の上から3段落目の表現が、小中学校再編の行く先は義務教育学校と読める。
126	5	V	2	①	65	地域全体で子どもを守り育てる環境整備	＜施策の方向性＞の漁村留学制度について、鹿島で実施しているものを指していると思うが、市町村合併に伴い、村自体が無くなったことから、ウミネコ留学制度という表現にした方がよいのではないか。
127	5	V	2	③	65	地域全体で子どもを守り育てる環境整備	＜成果指標と目標値＞について、目標値の設定としては増加させていくという考えは理解できるが、少子高齢化や働く世代の多忙化を考えると、難しい部分があるのではないか。内容を充実させるなどの方向性はないか。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
128	5	V	2	—	64 65 66	地域全体で子どもを守り育てる環境整備	地域によっては、地区コミではなく、公民館制度を設けているところもあるが、この公民館活動は地区コミ活動とどう違うのか、それとも中央公民館の分館活動になっているのか、教えていただきたい。
129	5	V	2	—	64 65 66	地域全体で子どもを守り育てる環境整備	特に、公民館制度については、社会教育の側面において、中央公民館の分館のような印象を受けてしまう。地区コミ活動の中で社会教育活動を進めるのか、公民館制度の中で社会教育活動を進めるのか、整理が必要ではないか。
130	5	V	2	—	64 65 66	地域全体で子どもを守り育てる環境整備	公民館制度について、平成19年4月以降、市から認められた組織でなくなったという説明であったが、地域によっては、現在も公民館制度を実施し、役員手当を支払うなど、活動しているところがある。地域の人は、説明にあったようなことを知らないのではないか。
131	5	V	4	①	71 72	誇りと愛着のある地域文化の保存・継承・活用	＜施策の方向性＞2つ目の◇において、「～継承されていくよう、～継承に取り組んでいけるよう、～」となっているので、表現を見直してはどうか。
132	5	V	4	① ②	71	誇りと愛着のある地域文化の保存・継承・活用	＜成果指標と目標値＞について、施策名に活用という単語が入っているが、成果指標は入館者数となっている。活用に関する指標の設定はできないか。
133	5	V	4	②	72	誇りと愛着のある地域文化の保存・継承・活用	＜施策の方向性＞に「後継者の育成を支援」と記載がある。川内はんやについて、従来のはんや節を今の子ども達は踊らなくなっている。郷土芸能など文化の継承という観点では、従来のはんや節の継承に努めていただきたい。
134	5	V	4	—	70 71 72	誇りと愛着のある地域文化の保存・継承・活用	川内歴史資料館、川内まごころ文学館の料金について、子どもは無料にしても良いのではないかと。また、団体料金に関して、20人以上としているが、人口減少下において20人の設定はハードルが高いのではないかと。
135	5	V	4	—	70 71 72	誇りと愛着のある地域文化の保存・継承・活用	観光ガイドが文化財に関するガイドまで行っているケースが見受けられる。文化財に特化して、文化財全体に関してガイドを行える人材の養成が必要なことだと考えているが、どのように考えているか。
136	5	V	5	①	73	スポーツ活動を楽しむ環境整備	＜魅力・現状・課題＞冒頭に「市民誰もがスポーツを通じて」と記載があるが、障害者も参加できるようなスポーツ教室が現在あるか、また今後の取組をどのように考えているか。
137	5	V	5	①	74	スポーツ活動を楽しむ環境整備	＜施策の方向性＞地区コミやスポーツ推進員を中心に、地域において積極的にスポーツ活動を展開している地域もあるので、市の方も積極的に関与していただけるとありがたい。 (関連) 市民の運動会も地域対抗運動会、それからコミュニティ対抗綱引き大会、バレー大会、ソフトボール大会という形で実施される。
138	5	V	5	—	73 74	スポーツ活動を楽しむ環境整備	障害者を別枠で捉えるのではなく、少し不自由なだけだと思うので、市民がいかにして参加できるかという視点で施策を展開していただきたい。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
139	5	V	5	—	73	スポーツ活動を楽しむ環境整備	くめざす姿>「市民が気軽にスポーツに親しむ環境が整い、日常的にスポーツを楽しんでいる」と記載があるが、市民応接の対応が悪い施設も散見される。管理委託した上で公共施設を維持管理していると聞いているが、市としてどのような管理をしているのか。
140	5	V	5	—	73 74	スポーツ活動を楽しむ環境整備	市民運動会について、選手に選ばれた方は本番に向けて一生懸命練習を重ねるが、甕島地域からの参加が無理になると中止になってしまう。頑張って練習してきた選手がかわいそうであった。 (関連) 甕島地域の皆さんの意見として、甕島地域からの参加がないと中止になることについて、甕島地域からの参加がなかったとしても、開催できるようにであれば市民運動会を開催していただきたいというのが、甕島全体の意見になっているのでお伝えしたい。
141	5	V	5	—	73 74	スポーツ活動を楽しむ環境整備	隈之城地区にパークゴルフ場が整備される予定であるが、地域住民のみが利用する施設なのか。
142	3	VI	1	-	-	地域力を発揮するコミュニティ活動等への支援	安心して子どもを産み育てる環境や定住政策に関係してくると思うが、ゴールド集落やその周辺地域においては、子どもの姿が見えないという現状がある。定住政策を行っても、若い世代の方は中心市街地に集まりがちで、ゴールド集落やその周辺地域においては、後期高齢者の方ばかりが住み続けている。コミュニティなどの環境が、若い世代には合わないのではないかと感じている。こうした中で閉校する学校も増えているのではないかと。コミュニティ活動において、昔からその地域に住む高齢者の方々は一生懸命取り組んでいることはよく分かるが、若い世代の方にとっては、それが負担になっているのではないかと感じる。若い世代の方もゴールド集落やその周辺地域に住みたくなるような、そうした施策についても検討してはどうか。
143	4	VI	1	①	75 76	地域力を発揮するコミュニティ活動等への支援	ゴールド集落支援に関して、現在の65歳以上を対象としている年齢区分を見直してはどうか。また、補助金のみに重点を置くのではなく、バス運行やごみ処理問題等、住民が本当に必要とする施策にシフトすべきではないか。
144	4	VI	1	①	75 76	地域力を発揮するコミュニティ活動等への支援	ゴールド集落の定義について、現在65歳以上を基準としているが、長寿社会となっている昨今において、年齢区分の見直しを行うことを検討してはどうか。また、ゴールド集落への支援に関して、活動のないところに補助金は不要と考えており、一生懸命取り組むゴールド集落に対して支援をするよう今後も取り組んでいただきたい。
145	4	VI	1	①	75 76	地域力を発揮するコミュニティ活動等への支援	ゴールド集落支援制度の見直しに当たっては、48地区コミュニティ協議会会長会議の中でもしっかりと議論されるようお願いする。
146	4	VI	1	①	76	地域力を発揮するコミュニティ活動等への支援	地域を支援する職員の配置について、実現すれば良いことだと思うが、先程、適正な定員管理の話もあり、難しい部分もあると考えている。何か良い方策がないか、検討いただきたい。また、76頁の施策の方向性①「地域のけん引役となるリーダー等の人材育成を図ります」に関して、リーダーだけでなく、地域全体で地域のことを考えていけるような、そうした人材を多く育成する点についても検討いただきたい。
147	4	VI	1	①	76	地域力を発揮するコミュニティ活動等への支援	地域おこし協力隊について、現在、本市には何名の協力隊員が配置されているか。また、地域おこし協力隊員は、都市部出身の方が多いと聞いているが、こうした協力隊員からの御意見等を踏まえた事業が行われているか、教えていただきたい。
148	4	VI	1	③	75 76	地域力を発揮するコミュニティ活動等への支援	小規模自治会とはどの程度の規模になるか。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
149	4	VI	1	③	75 76	地域力を発揮するコミュニティ活動等への支援	地域を支援する職員の配置について、コミュニティ主事とは別に職員を配置するという理解で良いか。甕島地域においては、支所の統廃合が行われる予定となっており、こうした地域を支援する職員の配置について、検討いただきたい。
150	4	VI	1	—	75 76 77	地域力を発揮するコミュニティ活動等への支援	市役所の職員が率先して動かなければ市民は動かない。市役所の各担当職員が、各地域に住む市職員と地域活動や会議に参加することを、計画本文に明記するべきではないか。
151	4	VI	1	—	—	地域力を発揮するコミュニティ活動等への支援	同じ家に住んでいるのに、世帯分離の形で、自治会名簿等が作成されるが、どうなっているのか。
152	4	VI	2	—	78	お互いを認め合う人権の尊重と男女共同参画の推進	施策名について、「お互いを認め合う人権の尊重」というのが、そもそも男女共同参画を意味していると思うので、意味が重複した表現になっているのではないかと。また、昨今の社会情勢を考えるとLGBTについても、計画上記載する必要があると思うが、個人的にはこの概念自体が偏見に近いと感じているが、やはり取り組んでいくべきものだと考えている。これらを踏まえ、例えば、「お互いを認め合う全ての人の人権の尊重」などの表現にすると、男女問わず、また、LGBTの方々も含めた全ての人を網羅した内容になるのではないかと。
153	4	VI	2	②	78	お互いを認め合う人権の尊重と男女共同参画の推進	「虐待やDVなど重要な」とあるが、「重大な」という表現に修文してはどうか。
154	4	VI	2	②	78 79	お互いを認め合う人権の尊重と男女共同参画の推進	「国・県・関係団体」という記載があるが、ここでいう関係団体には、警察や法曹界（いわゆる弁護士会）も含まれていると思料する。警察や法曹界などについても、計画本文に記載することで、市民から見ると、どのような機関に連携を取ってもらえるか、分かりやすく、相談しやすいと思うので、検討いただきたい。
155	4	VI	2	③	78	お互いを認め合う人権の尊重と男女共同参画の推進	「各種審議会等の委員構成への配慮を働きかけていく」とあるが、女性登用を進めていくということであると、主体性のない表現に見えるので、「女性登用の推進に取り組んでいく」など修文を行った方が前向き感が出てくるのではないかと。
156	4	VI	2	—	—	お互いを認め合う人権の尊重と男女共同参画の推進	地域の中には、一度は外に出て戻ってきた方がいると思う。色んな意見を言う人がいると思う。もちろん、地域の実情などに沿った形で意見を述べているが、なかなか地域に受け入れられないという現状がある。中には、身体的な障害のことを言うケースもある。こういった事項は基本的な事項であると考えている。計画本文にも人権問題はある旨の記載があるが、具体的にどういった救済をしていくのか、という点は大切な点であると考えている。 （関連） 市や各種団体が主催する各種セミナーや講座に参加してみると、女性参加者の数が圧倒的に多い。特に、働く女性の方ほど熱心である。一方、男性参加者は少ない。参加率の低い男性は、新しい考え方等を取り入れる機会が少なく、上記の事象が発生してしまうのではないかと。市を始め、各種団体が主催する各種のセミナー等に男女ともに参加するよう、市としても参加要請を行うなど、取り組んではどうか。
157	4	VI	3	①	82	市民の視点に立った身近で利用しやすい市役所づくりの推進	「広報・広聴活動の充実」に関連して、広報紙や市ホームページなどを活用し、市政に関する情報発信を行うということであるが、特に本市への転入者に対し、例えば、市民便利帳を配布するなどし、市政に関する情報、定住支援制度に関する情報などを、積極的に発信していくことを検討いただきたい。
158	4	VI	3	①	82	市民の視点に立った身近で利用しやすい市役所づくりの推進	後期基本計画の本文にも、「市政に関する情報などを積極的に発信していく」旨記載いただけないか。転入者を含めて、市民に対して、市政に関する情報、定住支援制度に関する情報などを発信していくことは大切なことだと考えている。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
159	4	VI	3	②	81	市民の視点に立った身近で利用しやすい市役所づくりの推進	「適材適所の職員配置に努めながら」に関して、具体的に実施していくことは非常に難しい部分があると思うが、どのように考えているか。 (関連) 人事のローテーションを考える際、職員の評価の仕方をどうするかなど、難しい点があると思う。職員の適材適所を見極める際にも、どの職場が最適か、難しい点があると思う。人事異動は、その結果次第では、職員のやる気を削いでしまう場合もあれば、落ち込んでいた職員がやる気を取り戻す場合もあると思う。今後も、適材適所の職員配置に努めていただきたい。
160	4	VI	3	②	82	市民の視点に立った身近で利用しやすい市役所づくりの推進	各種研修に職員を出すことは必要だと思うが、研修で得たものが業務に活かされているか教えていただきたい。
161	4	VI	3	③	82	市民の視点に立った身近で利用しやすい市役所づくりの推進	「適正な定員管理に努めます」に関して、定員適正化方針はなくなったのか。また、適正な定員に関して、「適正な」をどのように捉えているか、市民にも分かりやすいよう記載してはどうか。
162	4	VI	3	③	82	市民の視点に立った身近で利用しやすい市役所づくりの推進	マイナンバーカードによるサービス提供数に関連して、現状値の4件の内訳とマイナンバーカードの普及率を教えていただきたい。
163	4	VI	3	③	82	市民の視点に立った身近で利用しやすい市役所づくりの推進	現状値から目標値で6件増の目標設定になっているが、現在想定しているものがあるか教えていただきたい。
164	4	VI	3	③	81	市民の視点に立った身近で利用しやすい市役所づくりの推進	「窓口業務の容易性」という表現について、窓口業務は行政側の視点になるため、「窓口手続の容易性」といった市民視点の表現に修文してはどうか。
165	4	VI	3	—	—	市民の視点に立った身近で利用しやすい市役所づくりの推進	市民の視点に立った行政サービスということで、まちづくり懇話会やパブリックコメント制度などあるが、市民の声がどの程度市政に反映されているか、分かりづらいという御意見を聞いたことがある。逆に、市民側は積極的に市政に関する情報を収集していく姿勢も必要だと考えている。行政には、こうした自発的な市民を引き出すような取組を進めていただきたい。また、政策VI—施策4のめざす姿に記載の「市民等が施策の展開に参加している」について、難しい部分もあると思うが、それを目指して取り組んでいただきたい。
166	3	VI	4	—	—	効果的かつ効率的な行政経営の推進	社会情勢が大きく変化する中、人材育成と人材確保が大きな課題であると考えている。 本市においても、人材育成と人材確保に関する取組について検討するべきではないか。
167	4	VI	4	②	85	効果的かつ効率的な行政経営の推進	公共施設としての複合拠点施設（コンベンションセンター）の位置付け、役割を示すべきではないか。
168	4	VI	4	②	85	効果的かつ効率的な行政経営の推進	目的と手段に関し、文章の流れに違和感を覚えた。次のように修文してはどうか。 ◇公共施設再配置計画に基づき、中長期的な視点で施設の集約化や複合化、長寿命化等を計画的に行い、財政負担の軽減、平準化を図ります。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
169	4	VI	4	—	—	効果的かつ効率的な行政経営の推進	川内文化ホール機能をコンベンション施設に移すということであるが、川内文化ホールはその後取り壊されるのか、残されるのか。また、取り壊された場合の跡地の利活用はどのようになるのか。立地場所が街中にありその跡地利用を考えることは重要なことだと考えている。
170	4	VI	4			効果的かつ効率的な行政経営の推進	後期基本計画の期間中に、具体的な取組に関する方向性が定められるという認識で良いか。
171	6	VI	5	③	87	健全で安定した財政運営の推進	＜成果指標と目標値＞について、95.0%以上を目指すのか。
172	6	VI	5	—	87 88	健全で安定した財政運営の推進	合併特例債について、限度額とこれまでの活用額について、教えていただきたい。
173	6	VI	5	—	87 88	健全で安定した財政運営の推進	合併特例債を新たに100億円程度活用予定とのことであるが、後期基本計画5年間で活用見込みの事業が、現時点において何かあるのか。
174	6	VI	5	—	87 88	健全で安定した財政運営の推進	合併特例債は人件費に充当することはできないため、今後、必要性の高い事業実施を検討する際などに、合併特例債を適切に活用していくということで良いか。
175	6	VI	5	—	87 88	健全で安定した財政運営の推進	普通交付税の特例制度についても教えていただきたい。
176	6	VI	5	—	87 88	健全で安定した財政運営の推進	本市の財政状況は、他自治体と比べて豊かなのか、苦しいのか、教えていただきたい。
177	7	—	—	—	90	第2期薩摩川内市総合戦略（重点プロジェクト）の推進	「1 生き生きと働くまち薩摩川内プロジェクト」について、基本目標の6行目「本市の雇用を支える産業が更に元気になるための方策」を、「本市の雇用を支える産業が更に元気になるための〇〇等の方策」に修文することで、国・都道府県等に視察、検討した事項に基づいて本市の具体策を挿入してはどうか。
178	7	—	—	—	92	第2期薩摩川内市総合戦略（重点プロジェクト）の推進	「2 暮らしたいまち薩摩川内プロジェクト」に関連して、「定住住宅（取得・リフォーム）補助金」における申請時の添付書類として、世帯全員の住民票や滞納のない証明書を提出する必要があるが、申請者の閲覧承認の押印・署名に関する欄を追加することで、これらの添付書類の添付を不要とし、申請者の負担軽減に努めてはどうか。
179	7	—	—	—	92	第2期薩摩川内市総合戦略（重点プロジェクト）の推進	定住補助制度に関連して、広報用チラシにおいて、200万円交付の旨記載があり、申請者としては1度に200万円支給されるものと認識する。しかし実際には、1年目にその半額支給があり、残りの半額を数年かけて分割支給されているところである。当該情報発信の在り方について、どのように考えているか。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
180	7	—	—	—	92	第2期薩摩川内市総合戦略（重点プロジェクト）の推進	定住補助制度について、2年目以降の継続に関しても、申請書類を提出する必要がある。さらに、添付書類として、世帯全員の住民票や滞納のない証明、法務局関係の書類などを、併せて提出しなければならない。法務局関係の書類については、組織が別なので理解できるが、住民票や滞納のない証明書については、同じ市役所内で完結する文書であり、申請書類において申請者本人の同意を得る欄を設ける等の工夫により、市民サービスの向上につながると考えている。
181	7	—	—	—	94 95	第2期薩摩川内市総合戦略（重点プロジェクト）の推進	小さな拠点は組織体制・介護・救急医療・交通機関未利用者対策・旧川内地区での取組等、多くの課題があると思う。今回の後期基本計画（素案）においては、K P Iとして取組地区が4地区に増加されるが、今後の方針と取組の概要説明をお願いしたい。
182	7	—	—	—	94 95	第2期薩摩川内市総合戦略（重点プロジェクト）の推進	小さな拠点について、旧町村地域において拠点となる施設は何かあるか、独自に調べてみた。やはり合併前の旧役場周辺に、病院や学校、銀行などが集積しており、今後も旧町村地域における拠点はこのあたりになるのかと考えたところである。また、公共交通ネットワークの整備は必要なことであると考えている。
183	7	—	—	—	94 95	第2期薩摩川内市総合戦略（重点プロジェクト）の推進	立地適正化計画を策定中である。この計画においては、小さな拠点も含めて検討がなされているが、都市計画区域でないと立地適正化に向けた取組が実施できないとのことで、例えば、祁答院地域においては拠点を作れないところである。こうした地域も含めて、立地適正化計画とは別に、市域全体の発展のために、中心部となることを決めて取組ができるよう、計画を作成することができないか。こうした点について、都市計画課とも十分協議を行い、立地適正化計画においては対象外とされた地域においても、中心となる箇所を決め、ずっと住み続けられる拠点づくりに努めていただきたい。
184	7	—	—	—	—	第2期薩摩川内市総合戦略（重点プロジェクト）の推進	ゴールド集落について、560程度の自治会のうち、174自治会がゴールド集落となっている。行政としては、補助金制度を設けているところであるが、毎年増えていくゴールド集落への支援の在り方について、現在見直しを検討していると聞いている。その一つとして、70歳以上の人口がその自治会内の半数を超えたときに、ゴールド集落とするという検討事項がある。
185	7	—	—	—	89 ～ 95	第2期薩摩川内市総合戦略（重点プロジェクト）の推進	総合戦略の本文においては、組織横断的な取組として記載されているが、市役所の組織体制としては縦割りであり、同じ部内であっても連携が取れていないケースがあるように思っている。今後の施策展開においては、市役所内の連携も密にしながら取り組んでいただきたい。また、市民側においても、まちづくりに対する意識をしっかりと持ち、できることに取り組んでいくことが必要だと考えている。市民、行政が双方向で取り組んでいく気運の醸成が必要だと考えている。 【関連】 総合戦略分野における4つのプロジェクトの推進体制について、説明していただきたい。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
186	7	—	—	—	93	第2期薩摩川内市総合戦略（重点プロジェクト）の推進	「子育てするなら薩摩川内プロジェクト」の基本目標9行目「自分の時間を優先したい」について、独身者目線でのお話なのか読み取れなかったが、子育てをする保護者の皆さんも保育園や幼稚園には確かに子どもを預けられるが、現状として、オムツにたくさんおしっこを溜めたまま、また、熱があるにも関わらず、保育園や幼稚園に連れて来られる保護者がいる。それは、仕事ではなく、プライベートな時間を過ごそうとする保護者ではないか、という話を聞いたりする。 2019年9月には、出水市において悲しい事件が発生したが、「生活スタイルの変化に対する不安や苦勞」などが、計画本文にも記載されているが、市民の役割として本市は他の市町村に比べると、子ども医療費制度は非常に充実しており、私の娘が県内他市にいますが、病児への保育医療体制もしっかりしており、また、医療費も高校生まで無償化している。しかし、市民にはあまり把握されていない点もあり、市民の皆さんの自覚というか、やはり親としての自覚を学ぶ場所というものが、「自分の時間を優先したい」という文面の中に記載いただけるとありがたい。2019年6月に、特別支援を要する子ども達が、過去10年の間に2.5倍増えてきている。これが、アスペルガーであったり、自閉症であったり、学習障害であったり、そういう子ども達が非常に障害を抱えていらっしゃる中、親御さん達がどう対応して良いか分からず、手探り状態で生活スタイルの在り方に苦慮している方が多くいらっしゃる。そういう人達を対象にしたセミナー開催などに今後取り組んでいきたいということを記載いただけるとありがたいと考えている。
187	5	—	—	—	—	(計画全体)	成果指標から市民アンケートに関するものが削除されている。市民からの評価は必要ないということなのか。
188	5	—	—	—	—	(計画全体)	施策ごとではなく、全体アンケートを実施していくということか。
189	4	—	—	—	—	(計画全体)	全施策に共通しているが、「魅力」について記載することとなったことを踏まえ、もう少し魅力についても書いてはどうか。
190	2	—	—	—	—	(計画全体)	後期基本計画の策定に当たって、エネルギーにはそれぞれ特徴があることに留意いただきたい。例えば、再生可能エネルギーの利点／欠点、原子力発電の利点／欠点を記載するなど、市民にも分かりやすい形で後期基本計画に記載していただきたい。
191	2	—	—	—	—	(計画全体)	SDGsにおける「誰一人取り残さない」という考え方は、後期基本計画の策定においても重要な視点であると考えている。より多くの市民の方の御意見を聞き、政策・施策を立案していただきたい。
192	7	—	—	—	—	(計画全体)	先日の新聞記事において、トヨタ自動車が360度評価を来年度から実施する旨の記事掲載があった。これは、上司のみならず、部下や同僚なども人事評価を受けるというものである。既に財務省、ソフトバンク、リクルートなどが取り入れている評価制度のようである。今後、本市においても、職員の士気高揚のため、取り入れていく考えや予定があるか。
193	7	—	—	—	—	(計画全体)	これまで協議を重ねてきたが、重点的に取り上げていただきたい事項として、雇用、児童虐待、地域づくり（ゴールド集落や小さな拠点など）、防災、環境活動がある。また、特には人口減少対策として、安心して子育てができる体制につなげていけるような取組、虐待防止につながる取組、また、避けようのない学校の統廃合問題への対応は非常に重要なことだと考えている。また、防災については、いつ起こることも限らないため、今のうちからしっかりと考え、備えておくことが重要だと考えている。
194	7	—	—	—	—	(計画全体)	本市はマスコミを使うことが下手だと思っている。具体的には、先日はんや祭りが開催されたが、10日後の新聞にようやく記事が掲載された。マスコミには積極的に情報提供を行い、本市を宣伝していただきたい。

番号	回数	政策	施策	方向性	ページ	施策項目等	意見等の内容
195	—	—	—	—	—	(答申関係)	第2次総合計画後期基本計画から新たに取り入れた「魅力」について、市民に分かりやすく伝わるようにしていただきたい。
196	—	—	—	—	—	(答申関係)	今後、財政的に厳しくなっていくことが予想されるため、事業展開に当たっては、選択と集中に基づき、優先順位をもって取り組んでいただきたい。
197	7	—	—	—	—	(答申関係) 答申書の鑑文	鑑文において、「審議の中で出された意見については、取りまとめて添付する」旨、追記していただきたい。
198	—	Ⅲ	—	—	—	(答申関係) 【産業振興】 地域の豊かな個性で活力を生み出すまちづくり	5つ目の項目について、「地域で長く事業活動をしてきた地場企業の事業拡大、新興企業の育成、併せて、企業誘致にも取り組まれたい。」旨の記載に修正できないか。 本市で長く事業活動をしてきた企業を大事に考えることが一番であると考えている。
199	—	V	—	—	—	(答申関係) 【教育文化】 次世代を担う人と文化を育むまちづくり	「地域（地区コミュニティ協議会など）と連携した学校づくりに、より一層取り組まれたい。」旨の一文を入れていただきたい。 コミュニティスクールなど、地域で協力して子どもを育てていくことが、これからは非常に大切なことだと考えている。
200	—	Ⅵ	—	—	—	(答申関係) 【地域経営】 市民みんなで考え、行動するまちづくり	2つ目の項目について、「自治会未加入者が、一定程度・・・影響も大きくなる。現在の自治会制度の改定も含め、未加入者対策に、引き続き取り組まれたい。」旨の記載に修正できないか。 未加入者対策が容易でないことは、これまでの取組の中でも認識しているはずで、現状の自治会制度そのものについても、考えていく時期が来ているのではないか。
201	—	—	—	—	—	(答申関係)	企業誘致政策、人口減少対策、高齢化対策、健康福祉政策、防災対策、教育関係、定住政策等、各部署においては、これらの重要課題への対応に取り組まれているが、縦割り行政ではなく、組織横断的な行政の体制で取り組んでいくことで、現在策定中の第2次総合計画後期基本計画が長期継続的で実行可能な計画になっていくのではないか。
202	—	—	—	—	—	(答申関係)	川内駅東口に建設中のコンベンションパークに関して、建設費用や川内文化ホールの今後の取扱いなど、市民は懸念している。このことを踏まえ、市として、コンベンションパークの建設やその活用方法などを積極的に市民に対して情報提供することや、市民の声を取り入れた事業を展開することにより、懸念の払拭に努めるべきである。市民、行政、市議会が一体となり、市民のシンボルとして活用され、負の遺産とならないように期待する。